

再評価調書

NO. 1

事業名	道路改良事業		事業区間	一般県道 常神三方線 三方上中郡若狭町常神～遊子		
事業目的						
一般県道常神三方線は、常神半島の最北端から半島西部の集落を經由し、三方五湖の西側湖畔沿いを経て、一般国道162号に至る半島唯一の生活道路であり、観光に供する重要な道路である。当事業区間は、幅員狭小で線形不良の未改良区間が多く、地形が急峻なため、これまで幾度となく豪雨災害により道路が寸断され、その度半島先端側の集落が孤立するなど、災害に対し脆弱な道路である。当事業は、トンネルによるバイパス道路の整備を行い、災害に強い地域の生命線道路の通行を確保し、地域観光の振興を図るものである。						
全体事業内容						
全体延長 L=2,340m、幅員 W=9.25m(車道幅員5.5m) (常神～神子工区)L=1,125m うちトンネルL= 672m (小川～遊子工区)L=1,215m うちトンネルL=1,030m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成27年度	平成29年度	令和元年度	令和8年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		6,200,000	1,137,830	18.4%	5,062,170	
財 源 内 訳	国 庫	2,844,913	551,886		2,293,027	
	県 他	3,355,087	585,944		2,769,143	
費用対効果		1.01(総便益96.7億円 総費用95.6億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	(常神～神子工区)用地買収が完了し、トンネル工事に着手。 (小川～遊子工区)地籍混乱解消の手続きを進めている。				
	R2以降残事業	(常神～神子工区)トンネル工事を進める。 (小川～遊子工区)地籍混乱解消後に用地買収を行い、トンネル工事を進める。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	62.0億円	62.0億円	・変更なし			
完成予定年度	令和3年度	令和8年度	・地籍混乱による境界確定に時間を要したため、事業期間の5年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
線形不良区間および幅員狭小区間の解消ができず、また、半島における唯一の道路であるため、区間内現道の災害発生時に半島先端集落が孤立する。						
備 考						

再評価調書

NO. 2

事業名	砂防事業		事業区間	毘紗川(びしゃがわ) 鯖江市尾花町		
事業目的						
<p>毘紗川は、福井県鯖江市の東部に位置し、人家25戸および一般県道上河内北中線など多くの公益施設を保全対象に含む土石流危険渓流である。</p> <p>平成16年7月に下流の人家が被災した。現在も渓流の侵食・荒廃が激しく、渓床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰堤を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 1基 渓流保全工 140m 調査測量設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成27年度		平成29年度	令和元年度	令和6年度	
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		616,350	137,330	22.3%	479,020	
財 源 内 訳	国 庫	293,500	65,395		228,105	
	県 他	322,850	71,935		250,915	
費用対効果		6.08 (総便益30.57億円 総費用5.03億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	用地補償が完了。				
	R2以降残事業	砂防堰堤(R2~R6)を完成させ、人家25戸と一般県道上河内北中線などの公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	7.35億円	6.16億円	<ul style="list-style-type: none"> 不安定土砂量が少ないことが判明し、堰堤数を減らしたことによる減。(−1.5億円) 堰堤の位置変更に伴い渓流保全工の延長が短くなることによる減。(−0.86億円) 堰堤の位置変更に伴い付替林道の延長が伸びたことによる増。(0.72億円) 社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(0.45億円) 			
完成予定年度	令和6年度	令和6年度	・変更なし			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の大雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 3

事業名	砂防事業		事業区間	代谷川(しろたにがわ) 小浜市 羽賀		
事業目的						
<p>代谷川は、福井県小浜市の国富地区に位置し、人家30戸および一般県道羽賀東小浜停車場線や羽賀ふれあい会館などを保全対象に含む土石流危険渓流である。</p> <p>平成25年9月の台風18号により土砂が流出し、下流の人家や農地等が被災した。現在も渓流の侵食・荒廃が激しく、渓床には不安定土砂が堆積していることから、豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰堤を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 2基 調査測量設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	令和6年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		531,000	298,600	56.2%	232,400	
財 源 内 訳	国 庫	254,167	143,500		110,667	
	県 他	276,833	155,100		121,733	
費用対効果		5.63(総便益27.65億円 総費用4.91億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	瓜生谷川の堰堤工1基が完成。				
	R2以降残事業	埋蔵文化財の発掘調査(R2～R3)を行い、代谷川(徳蔵坊谷川)の砂防堰堤(R4～R6)を完成させ、人家30戸と羽賀ふれあい会館などの公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.20億円	5.31億円	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の発掘調査による増。(0.85億円) 社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(0.26億円) 			
完成予定年度	令和4年度	令和6年度	埋蔵文化財の発掘調査が必要となったため、事業期間の2年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>渓流には不安定土砂が堆積しているため、豪雨時には土石流が発生し、下流域に多大な被害を与える恐れがある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 4

事業名	砂防事業		事業区間	神谷川(こうだにがわ) 三方上中郡若狭町 神谷		
事業目的						
<p>神谷川は、福井県三方上中郡若狭町に位置し、人家31戸および一般国道27号や神谷生活改善センターなどを保全対象に含む土石流危険渓流である。</p> <p>平成25年9月の台風18号により土砂が流出し、下流の人家や農地等が被災した。現在も渓流の侵食・荒廃が激しく、渓床には不安定土砂が堆積していることから、豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰堤を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 1基 調査測量設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成27年度	平成28年度	令和元年度	令和3年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		210,000	118,500	56.4%	91,500	
財 源 内 訳	国 庫	100,571	57,000	/	43,571	
	県 他	109,429	61,500		47,929	
費用対効果		14.44(総便益28.45億円 総費用1.97億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	用地補償が完了。				
	R2以降残事業	砂防堰堤(R2~R3)を完成させ、人家31戸、神谷生活改善センターなどの公共施設を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	2.10億円	2.10億円	・変更なし			
完成予定年度	令和元年度	令和3年度	・境界確定に向けた調整に時間を要したため、事業期間の2年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>渓流には不安定土砂が堆積しているため、豪雨時には土石流が発生し、下流域に多大な被害を与える恐れがある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 5

事業名	広域河川改修事業		事業区間	二級河川 笙の川 敦賀市松栄町～昭和町1丁目		
事業目的						
笙の川は、敦賀市市街地を貫通して敦賀湾に注ぐ二級河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を現況の約520m ³ /sから950m ³ /s(治水安全度1/14→1/50)に高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=1,600m 掘削護岸工 L=1,600m、附帯工事(橋梁6橋)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成27年度	令和2年度	平成29年度	令和12年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		4,480,000	406,900	9.1%	4,073,100	
財 源 内 訳	国 庫	2,134,000	262,000	/	1,872,000	
	県 他	2,346,000	144,900		2,201,100	
費用対効果		20.4 (総便益917.7億円 総費用44.9億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	河口より木の芽川合流点までの全体延長1.6km区間の整備に向け、設計等の業務を進めた。また、洪水時に最も危険性が高い来迎寺橋の橋桁撤去を平成30年度に完了した。				
	R2以降残事業	今後、河床掘削・護岸工を進め、伴って流下阻害となる橋梁等施設について各管理者との調整を図りながら対策を進め、令和12年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	39.0億円	44.8億円	・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(5.8億)			
完成予定年度	令和12年度	令和12年度	—			
事業を休止した場合の影響						
事業区間は、敦賀市街地に位置しており、今後氾濫が発生した場合、市街地内の民家・学校・病院・福祉施設・行政機関および幹線道路等への被害が想定される。事業を休止した場合、住民生活に多大な影響をおよぼす可能性が非常に高く安全性が確保できない。						
備 考						

再評価調書

NO. 6

事業名	総合流域防災事業		事業区間	一級河川 七瀬川 福井市内山梨子町～大年町		
事業目的						
七瀬川は、一級河川九頭竜川の支川で、福井市北部に位置し、山間地の集落を流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を現況の80m ³ /sから170m ³ /s(治水安全度1/1.1→1/2.5)に高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=3,100m 掘削護岸工 L=3,100m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成2年度	平成12年度	平成15年度	令和19年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R31末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		4,000,000	2,385,700	59.6%	1,614,300	
財 源 内 訳	国 庫	1,962,000	1,175,500		786,500	
	県 他	2,038,000	1,210,200		827,800	
費用対効果		1.34 (総便益75.9億円 総費用56.6億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	全体延長3.1kmのうち、下流から約1.3kmまでの改修を完了している。本年度、交渉が難航していた用地取得が解決し、大橋架替に着手する。				
	R2以降残事業	大橋架替後、以降も上流へ引堤・河道掘削整備を進め、橋梁架替・付替対象となる施設について各管理者との調整を図りながら、令和19年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	34.0億円	40.0億円	<ul style="list-style-type: none"> ・河川法線の見直しにより、道路付替えが必要となったことによる増。(3.1億円) ・掘削残土の受け入れ先がなくなり、処分場への搬出になったことによる増。(2.1億円) ・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(0.8億) 			
完成予定年度	平成39年度	令和19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉が難航した。(3年) ・河川法線の見直しにより、道路付替え工事が必要となった。(2年) ・橋梁架替時の地元影響を考慮し、新橋設置完了後に旧橋を撤去する施工計画に変更。(1年) ・引堤の進捗に合わせた横断構造物の整備スケジュール見直し。(4年) 			
事業を休止した場合の影響						
事業区間は、河川沿いに集落が位置し、河川断面が非常に小さく氾濫の頻度が高い箇所である。事業を休止した場合、集落・保育園・幹線道路等に対し、洪水に伴う被害がおよぶことで地元住民に多大な影響があり、安全性が確保できない。						
備 考						

再評価調書

NO. 7

事業名	広域河川改修事業		事業区間	大蓮寺川 勝山市栄町2丁目～勝山市旭町2丁目		
事業目的						
大蓮寺川は一級河川九頭竜川の支川浄土寺川に合流する支川で勝山市街地を流れる河川である。現況断面の流下能力が低いため、治水安全度を現況の29m ³ /sから94m ³ /s(治水安全度1/2未満→1/50)に高め、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=2,915m 現川改修L=690m、放水路元禄線L=815m、放水路立石線L=1,410m						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度		工事着手年度	完成予定年度
	平成4年度		平成4年度		平成15年度	令和13年度
事業費(千円)		全体事業費		執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)
予 算 額		13,550,000		3,092,950	22.8%	10,457,050
財 源 内 訳	国 庫	6,526,000		1,513,800	/	5,012,200
	県 他	7,024,000		1,579,150		5,444,850
費用対効果		6.31 (総便益881.3億円 総費用139.7億円)				
事業の進捗状況		R1までの状況 全体延長L=2,915mのうち、現川改修から着手しており、平成31年度末時点で現川改修が完了し、放水路に着手している。 R2以降残事業 令和6年度の放水路元禄線完成に向け、埋蔵文化財調査委及び道路管理者と調整しながら整備を進めていく。 放水路元禄線完成後、引き続き放水路立石線に着手し、令和13年度の完成を目指す。				
前回との比較		前回計画	今回計画	変更となった理由		
全体事業費		122.0億円	135.5億円	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地の新規登録による調査予定範囲の増。(1.0億円) 一部の事業範囲を変更したことによる補償物件数の減。(-1.0億円) 社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(13.5億) 		
完成予定年度		令和6年度	令和13年度	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地(袋田遺跡、榎新田遺跡)が新たに発見され、改修工事及び埋蔵文化財調査の相互調整に要する期間延長(7年) 		
事業を休止した場合の影響						
事業区間は、勝山中心市街地に位置しており、今後氾濫が発生した場合、住宅・学校・病院・福祉施設・行政機関および幹線道路等への被害が想定される。事業を休止した場合、住民生活に多大な影響をおよぼす可能性が非常に高く安全性が確保できない。						
備 考						

再評価調書

NO. 8

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道 416号 福井市白方町～布施田町		
事業目的						
<p>一般国道416号は、福井県福井市を起点とし、石川県小松市に至る延長約91kmの幹線道路であり、テクノポート福井や福井港と福井市中心市街地を連絡し、北陸自動車道福井北ICへアクセスする重要な道路である。また、越前海岸への広域観光道路として位置付けられている。</p> <p>当事業は、白方町～布施田町のバイパス整備により、現道の未改良区間の解消や交通混雑の緩和を図り、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域産業の活性化を図るものである。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=5,200m、橋梁2橋、幅員 8.0m(車道幅員6.5m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成18年度	平成19年度	平成23年度	令和5年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		7,800,000	5,086,350	65.2%	2,713,650	
財 源 内 訳	国 庫	4,021,806	2,800,663	/	1,221,143	
	県 他	3,778,194	2,285,687		1,492,507	
費用対効果		1.64(総便益156.0億円 総費用95.4億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	全体延長5,200mのうち、一部区間の1,500mについてH29に供用開始済。				
	R2以降残事業	残る用地買収を進めるとともに、残区間の道路改良工事を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	54.0億円	78.0億円	<ul style="list-style-type: none"> 路床改良による増(3.6億円) 横断水路の地盤改良による増(5.5億円) 橋梁関連の地盤改良による増(7.6億円) 埋蔵文化財調査による増(2.6億円) 社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(4.7億円) 			
完成予定年度	令和2年度	令和5年度	地盤が軟弱で地盤改良工事に時間を要したため、事業期間の3年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> 福井市市街地とテクノポート福井や福井港を結ぶネットワークが形成されない。 計画交通量を円滑に通行させる道路網が構築されないため、現道の交通渋滞が解消されない。 						
備 考						

再評価調書

NO. 9

事業名	道路改良事業		事業区間	主要地方道 丸岡川西線 坂井市春江町布施田新～福井市布施田町		
事業目的						
<p>主要地方道丸岡川西線は、坂井市丸岡町の国道364号より北陸自動車道丸岡IC付近を経て地方港湾福井港(テクノポート福井)へアクセスする幹線道路であり、越前加賀海岸国定公園への観光道路としても重要な路線である。当事業区間にある一級河川九頭竜川に架かる布施田橋は、幅員狭小で老朽橋(昭和33年架設)である。</p> <p>当事業は、この布施田橋を架け替えることで、幅員狭小を解消し、安全で安心な交通の確保を図るものである。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=1,660m、幅員 9.75m(車道幅員6.0m) 一般部 1,046.5m、橋梁部 613.5m(布施田橋)</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成22年度	平成23年度	令和5年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		12,000,000	10,809,745	90.1%	1,190,255	
財 源 内 訳	国 庫	6,624,021	5,953,719		670,302	
	県 他	5,375,979	4,856,026		519,953	
費用対効果		1.15(総便益159.3億円 総費用138.2億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	平成30年9月16日に新しい布施田橋の供用開始。				
	R2以降残事業	旧橋撤去を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	120.0億円	120.0億円	・変更なし			
完成予定年度	令和2年度	令和5年度	・工事中道路の見直しにより、旧橋撤去を船着場1か所で行うこととなったため、事業期間の3年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>旧橋が撤去されないことから、落橋した場合河川の流れを阻害し河川が溢れる可能性がある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 10

事業名	ダム建設事業		事業区間	吉野瀬川ダム 越前市広瀬町		
事業目的						
洪水調節:ダム地点の計画高水流量200m ³ /sのうち175m ³ /sの洪水調節を行い、水害から住民の生命と財産を守る。 流水の正常な機能維持:既得取水の安定化および良好な河川環境の保全等のための流量を確保する。						
全体事業内容						
重力式コンクリートダム(ダム高 H=58.0m 堤頂長 L=190.0m 堤体積 V=137,330m ³ 総貯水容量 V=7,800千m ³ 有効貯水容量 V=6,800千m ³ 湛水面積 A=0.51km ²) 付替県道 L=5,349m 付替林道 L=5,000m 水没等移転戸数 N=37戸						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成3年度	平成12年度	平成13年度	令和7年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		39,000,000	22,976,567	58.9%	16,023,433	
財 源 内 訳	国 庫	19,634,741	11,653,025		7,981,716	
	県 他	19,365,259	11,323,542		8,041,717	
費用対効果		10.03(総便益 5730.3億円、総費用571.3億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度までに水没等による家屋移転は37戸すべて完了 平成30年度までに用地買収は99.6%完了 付替県道は90.4%完了、平成30年度に武生米ノ線が全線供用開始 平成23年度に国土交通大臣の要請により、ダム事業の検証に係る検討を行い、現計画を継続とする方針を決定 				
	R2以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> 残りの用地買収を進め、早期のダム本体着工を目指す。 ダム本体(H=58.0m L=190.0m V=137,330m ³) 付替県道 512m(内 橋梁 2橋) 付替林道 2,179m				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	325億円	390億円	<ul style="list-style-type: none"> 地質調査により判明した地質等の状況に合わせて、ダム本体や付替道路等の安全対策を追加。(25.9億円) ダム本体掘削土量の増加により新規土捨場を追加(5.8億円) 電波伝搬路調査の結果、鉄塔設備を追加。(1.3億円) 社会経済情勢の変化による材料費・労務費・機械経費・諸経費・消費税の増。(32.0億円) 			
完成予定年度	令和7年度	令和7年度	変更なし			
事業を休止した場合の影響						
事業を休止した場合、住宅・学校・病院・幹線道路・鉄道などが集中する越前市街地を含む吉野瀬川流域において、洪水に伴う被害が想定され、住民生活に大きな影響を及ぼす恐れがある。						
備 考						

再評価調書

NO. 11

事業名	砂防事業		事業区間	田ノ谷川(たのたにがわ) 福井市田ノ谷町		
事業目的						
<p>田ノ谷川は、福井県福井市西部に位置し、人家26戸を保全対象に含む土石流危険渓流である。 平成16年7月の豪雨時には土砂が流出し、下流の人家への被害が発生した。現在も、溪流の侵食・荒廃が激しく、 渓床には多量の不安定土砂が堆積していることから、今後の豪雨時には土石流が発生する恐れがあるため、砂防堰 堤を整備し下流域の住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
堰堤工 2基 調査測量設計 1式 用地補償 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度		完成予定年度
	平成24年度		平成25年度	平成27年度		令和3年度
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		577,500	367,510	63.6%	209,990	
財 源 内 訳	国 庫	275,225	175,230		99,995	
	県 他	302,275	192,280		109,995	
費用対効果		2.62(総便益15.30億円 総費用5.85億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	1号堰堤の付替林道が完成。 2号堰堤の用地補償が完了。				
	R2以降残事業	2号堰堤(R2~R3)を完成させ、人家26戸と市道を保全する。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.56億円	5.78億円	<ul style="list-style-type: none"> ・大安禅寺との協議により、施工方法を変更したことによる増。(0.2億円) ・付替林道の掘削勾配の変更に伴う掘削量の増。(0.86億円) ・社会経済情勢の変化による労務費、機械経費、材料費、諸経費、消費税の増。(0.16億円) 			
完成予定年度	令和元年度	令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・大安禅寺との協議および施工方法の検討に時間を要したため、事業期間の2年延長が必要となった。 			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の大雨等により土石流が発生した場合、下流域の人家等に多大な被害が生じる恐れがある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 12

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		事業区間	下天下地区(しもてがちく) 福井市下天下町		
事業目的						
<p>下天下地区は、福井県福井市南西部に位置し、保全対象として人家17戸、市道、公民館を含む、最大がけ高46m、最大勾配58°の急傾斜地である。</p> <p>平成24年9月には斜面崩壊により人家が被災するなど、斜面の風化が進んでおり、急傾斜地崩壊対策工事を実施し住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
重力式擁壁工 208m かがり柵工 40m 排土工 20m 吹付法柵工 930m ² 崩壊土砂防止柵工 40.5m 調査測量設計 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成24年度		平成25年度	平成25年度	令和3年度	
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		357,000	263,850	73.9%	93,150	
財 源 内 訳	国 庫	153,681	113,760	/	39,921	
	県 他	203,319	150,090		53,229	
費用対効果		3.25(総便益11.73億円 総費用3.61億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	重力式擁壁工190.1m、かがり柵工40m、排土工20m、吹付法柵工670m ² が完了。				
	R2以降残事業	今後引き続き、重力式擁壁工、吹付法柵工、崩壊土砂防止柵工を進め、令和3年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	3.57億円	3.57億円	・変更なし			
完成予定年度	令和元年度	令和3年度	・工事用道路の借地交渉に時間を要したため、事業期間の2年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
今後の集中豪雨により斜面崩壊が発生し、急傾斜地に面している人家等に多大な影響を与える恐れがある。						
備 考						

再評価調書

NO. 13

事業名	急傾斜地崩壊対策事業		事業区間	花堂地区 福井市花堂北2丁目		
事業目的						
<p>花堂地区は、福井県福井市の中央部に位置し、保全対象として人家35戸、市道、児童館を含む、最大がけ高55m、最大勾配65°の急傾斜地である。</p> <p>平成22年1月には斜面崩壊が発生するなど、斜面の風化が進んでおり、今後の豪雨時にはがけ崩れが発生する恐れがあるため、急傾斜地崩壊対策工事を実施し住民の生命と財産を保全する必要がある。</p>						
全体事業内容						
擁壁補強工 161.6m 重力式擁壁工 55.1m もたれ式擁壁工 41.8m 吹付法枠工 1900m ² 調査測量設計 1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度		完成予定年度
	平成24年度		平成25年度	平成25年度		令和3年度
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		436,800	359,600	82.3%	77,200	
財 源 内 訳	国 庫	195,284	160,360	/	34,924	
	県 他	241,516	199,240		42,276	
費用対効果		4.91(総便益21.70億円 総費用4.42億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	擁壁補強工43.3m、重力式擁壁工55.1m、もたれ式擁壁工41.8m、吹付法枠工1200m ² が完了。				
	R2以降残事業	今後引続き、擁壁補強工、吹付法枠工を進め、令和3年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	4.37億円	4.37億円	・変更なし			
完成予定年度	令和元年度	令和3年度	・想定より土質が悪かったことにより、工法の検討および追加の用地取得に時間を要したため、事業期間の2年延長が必要となった。			
事業を休止した場合の影響						
<p>今後の集中豪雨により斜面崩壊が発生し、急傾斜地に面している人家等に多大な影響を与える恐れがある。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 14

事業名	広域河川改修事業		事業区間	一級河川 天王川 越前町市～宝泉寺		
事業目的						
天王川は一級河川九頭竜川の支流日野川に合流する河川で、越前町市街地を流れる河川である。現況断面の流下能力(治水安全度1/3以下)が低いため、暫定で1/20(流出量550m ³ /s)確保を目指し整備を行い、水害から住民の命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=2,000m 築堤・護岸工 L=2,000m 附帯工事(橋梁 4橋 樋門・樋管 3基 堰 1基)						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度		完成予定年度
	平成15年度		平成16年度	平成17年度		令和15年度
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R1年度まで)	進捗率 (R1末)	残事業費 (R2以降残額)	備考
予 算 額		4,850,000	3,194,805	65.9%	1,655,195	
財 源 内 訳	国 庫	2,386,000	1,547,500		838,500	
	県 他	2,464,000	1,647,305		816,695	
費用対効果		10.8(総便益678.0億円 総費用63.1億円)				
事業の進捗状況	R1までの状況	市姫橋架替は完了し、七房橋上流の狭窄部約490mを概ね5年確率規模で暫定改修済。平成23年度以降は市姫橋から天神橋区間の改修に着手、左岸を先行して整備完了し引き続き右岸の改修を実施中。平成30年度から天神橋架替に着手している。				
	R2以降残事業	天神橋架替後、以降も上流へ引堤・河道掘削・護岸整備を進め、橋梁架替・付替対象となる施設について各管理者との調整を図りながら、令和15年度の完成を目指す。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	38.5億円	48.5億円	<ul style="list-style-type: none"> ・築堤材の土質改良及び残土処理費の増。(5.7億) ・土質調査の結果による橋梁・堰・樋門の基礎工追加。(2.6億) ・社会経済情勢の変化による材料費・労務費・機械経費・諸経費・消費税等の増。(1.7億) 			
完成予定年度	令和4年度	令和15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・天神橋架替について用地交渉難航により着手が遅れた(3年) ・当初天神橋と七房橋を同時施工を予定していたが、近隣学校の通学路となっており、学校要望により同時施工を取り止めとした(2年) ・地質調査結果に伴い、架替橋梁の杭基礎が増工となった(1年) ・河川改修として上下流整備バランスを踏まえた下流からの施工とするため、橋梁等の横断構造物を、築堤の進捗にあわせた施工スケジュールに計画変更(5年) 			
事業を休止した場合の影響						
事業区間は、越前町中心市街地に位置しており、今後氾濫が発生した場合、住宅・学校・福祉施設・行政機関および幹線道路等への被害が想定される。事業を休止した場合、住民生活に多大な影響をおよぼす可能性が非常に高く、安全性が確保できない。						
備 考						